

令和3年2月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 北海道YMCA 講義

企画実施概要: ①目的: 専門学校の国際理解教育の授業においてNGOの活動を紹介することで知見を広め 国際的感覚を養ってもらうことを目的とする。

②企画内容

・アウシュビッツの話

・NGOにおけるSDGsの活動について

③対象者および参加予定人数

英語・コミュニケーション専門学校1年生16名、オンラインで開催

2 出張者氏名

岡田 朋子

3 依頼元／主催団体名

北海道科学大学 佐藤雅一

4 実施日時

2021年1月29日(金) 9:00~10:40

5 実施場所

北海道国際交流センター 事務所(オンライン)

6 実施報告

参加人数13名

学生のwifiの環境で顔を出す生徒は少なかったが、クイズや質問などには積極的に反応してくれたのでとてもやりやすかった。特にアウシュビッツに関する質問は多く若者にとっても関心が高いことがわかった。また、今回は先生にも入ってもらい、SDGsについてのディスカッションを促すような授業だったので長時間のオンラインでも飽きずに参加できたのではないと思う。

7 写真



使用したPPT



使用したPPT

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 「第6学年 総合的な学習の時間 にじいろキッズドリームプロジェクト」
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
 - 1 ODA事業であるIVYの国際協力活動について紹介
 - 2 NGO、NPOとはどのような組織かについての説明
 - 3 教育支援はなぜ必要かについてのワークショップ
 - ②対象者および参加人数
 - 第6学年 生徒 75名

2 出張者氏名 阿部真理子

3 依頼元／主催団体名 山形市立西小学校

4 実施日時 令和3年1月12日（火） 13:35～15:10

5 実施場所 山形市立西小学校(山形県山形市)

6 実施報告

- ・教育はなぜ必要かというテーマは、小学生には難しいと思っていたが、子どもたちからたくさん意見が出て、やってよかったと思った。(教員から)
- ・みんな学校に行ってると思ったけど、行ってない子どもたちがたくさんいることに驚いた。
- ・学校に行けないといろんなことが出来なくなるから、戦争はしない方がいい。

7 写真



最初に、IVYの海外での活動と
NGO相談員について紹介

(写真1)



教育はなぜ必要かについて、グループワークで
考える子どもたち。

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

令和2年度「住民参画論B」特別講義

企画実施概要:

①実施内容

- 1) ODAによるIVYの国際協力活動
- 2) IVYの東日本大震災支援事業
- 3) IVYの活動を支える人・ネットワーク・お金、あなたに出来ること

②対象者および参加人数

弘前大学人文社会科学部2年生52名

2 出張者氏名

阿部真理子

3 依頼元／主催団体名

弘前大学 人文社会科学部

4 実施日時

令和3年1月25日 (月) 14:20 ~ 15:50

5 実施場所

会場名弘前大学(住所:青森県弘前市)

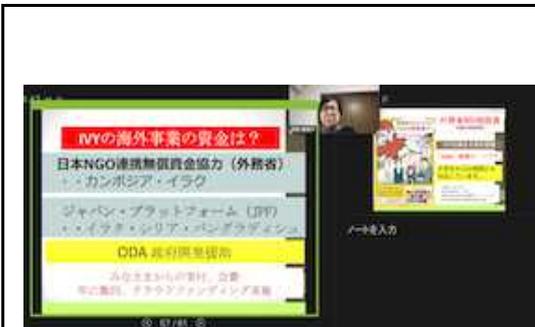
6 実施報告

・私は先進国のような国が主体となって、紛争地域の教育支援を行わなければ、いつまでたってもその国は戦争が終わらないと考えた。これは、質の高い教育を子供たちが受け、様々な知識を得ることによって、同じような悲惨なことを繰り返すのを防ぐことができるためだ。…これらのことから、私は日本が国際協力活動を行うことは必要だと考える。

・NGOという目線から復興支援を見るというのは、今までに無かったことでとても新鮮でした。

・地方にも積極的に国際協力活動を行う団体があると知り、外国と接点のある仕事をしたいと考える私にとって、キャリアの選択肢が広がる良い機会になった。

7 写真



IVYの活動がODA資金で行われていることを説明。

(写真1)



Bangladeshにおける支援について説明 (大学で教員が撮影)

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

島根大学キャリアデザインプログラム

企画実施概要:

①実施内容

- 1 ODA事業であるIVYの事業紹介
- 2 オリンピック・パラリンピックから、SDGsを考えるワークショップ

②対象者および参加人数

島根大学 キャリアデザインプログラム生・全学部学科16名

2 出張者氏名

阿部真理子

3 依頼元／主催団体名

国立大学法人島根大学 大学教育センター

4 実施予定日時

令和3年1月29日 (金)

15:00-16:40

5 実施場所

会場名: 島根大学(住所: 島根県松江市)

6 実施報告

・世界には支援を必要としている人々が多くいること、その支援は決して他人事ではなく自分も大学生として携わることが可能であることがわかりました。国境を越えて手を差し伸べ合う助け合いの輪が広がり、世界の格差が縮まっていくといいなと思います。

・国際協力の活動には継続的に参加した方がいいが、個人的な事情で時間が取れないので継続的な参加に敷居の高さを感じます。もっと気楽に役に立てる場があれば知りたいです。

・オリンピズムの基本原則を見る限り、文化や教育の面での可能性を感じることができる。むしろスポーツの発明を好機ととらえ、世界中の人々の暮らしを改善する手段になれば良いと思う。

7 写真

	
<p>当日の流れ、オンライン講義における注意点を教員が説明</p>	<p>グループワークで出た意見を発表</p>

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年2月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 宇都宮大学 講義「国際協力論」ゲスト講師
- 企画実施概要:**
- ①企画内容: 宇都宮大学における、国際的な課題に取り組む国際協力活動に関して取り扱う授業「国際協力論」に、当団体職員を講師として派遣する。
 - ②対象者および参加人数: 宇都宮大学学生40名

2 出張者氏名 今井 高樹(代表理事)

3 依頼元／主催団体名 宇都宮大学 重田康博教員

4 実施予定日時 令和3年1月7日 (木) 16:00～17:30

5 実施場所 オンライン

6 実施報告

- ・該当企画において、近年のスーダンの現地情勢を歴史や国際政治の側面から振り返るとともに、現地における各国および日本の国際協力活動について紹介することで、日本のNGOの役割を示した。
- ・講義後、「実体験からくるお話には説得力があった」「人道支援の現場におけるジレンマが伝わってきた」「参考になる書籍もご提示いただいたので今後読んでみたい」といった感想をいただいた。

7 写真



講義の最初に当制度の紹介をした。(オンライン実施、右上が講演者)

(写真1)



人道支援での実体験をエピソードをまじえて語った。

(写真2)

以上

令和3年2月4日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 愛知大学 国際協力とNGO
- 企画実施概要:**
- ①実施内容 国際協力やNGOの活動について関心を深め、国際協力やNGO活動に参加するきっかけを提供するため、NGO活動の実情や体験談、中部地域のNGOの活動紹介を講義形式で実施した。
 - ②対象者および参加人数 愛知大学経済学部3年生17名

2 出張者氏名

村山佳江

3 依頼元／主催団体名

愛知大学 経済学部 教授 佐藤 元彦

4 実施予定日時

令和3年1月14日 (木) 10:30～12:00

5 実施場所

愛知大学名古屋キャンパス講義棟L301教室

6 実施報告

・NGOの活動規模により方針や実施方法などに違いがあれば教えてほしい。小規模と大規模のNGOの現状を伝えた。

・道路の整備など現地のインフラを整えることが大切だと思う。インフラ整備を目的に活動しているNGOがあれば教えてほしい。具体名をあげてNGOを紹介した。

・支援には困りごとを解決する姿勢が大切だと思う。支援のあり方が一方的にならないように大切にすべきことは何か。村人など支援対象者に情報を公開してプロジェクトを実施することの大切さを伝えた。

7 写真

 <p>特定非営利活動法人名古屋NGOセンター 外務省NGO相談員 愛知大学 出張相談 2021/1/14 10:30～12:00</p> <h3>国際協力とNGO</h3> <ul style="list-style-type: none">●本日の目的<ul style="list-style-type: none">1. NGOとは何かを知る。2. NGOによる国際協力の事例を知る。3. ネットワークNGOという存在を知る。●すすめ方<ul style="list-style-type: none">1. はじめに (5分)2. NGOとは (50分)3. 名古屋NGOセンターとは (5分) <p>1</p>	
当日使用したパワーポイントデータ	ソーシャルディスタンスを取りながら講義を実施

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年5月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 名古屋市立城山中学校における総合的な学習の時間での講演
- 企画実施概要:**
- ①企画内容
名古屋市立城山中学校2年生の総合的な学習の時間の職業学習の時間にて、NGOでの活動や仕事内容に関する講演及び生徒からのインタビューを通じた質疑応答を行なった。
 - ③対象者および参加予定人数
名古屋市立城山中学校 2年生 約50名(1講座約25名×2回)

- 2 出張者氏名** 藤目 春子
- 3 依頼元/主催団体名** 名古屋市立城山中学校

- 4 実施予定日時** 令和3年1月22日 (金) 9時20分～11時50分

- 5 実施場所** 名古屋市立城山中学校(住所:愛知県名古屋市):オンラインでの実施

- 6 実施報告** 職業学習を通じ、NGO職員の仕事内容や役割に関する講演を行った。生徒たちがより具体的にイメージできるよう、NGOとは何かといった説明や、当団体の理念についても説明したうえで、現地での活動を動画を用いて具体的に紹介し、その活動を実施するために本部事業担当職員がどのような業務を日々行っているのかを、具体的に説明した。加えて、そうした業務に求められる能力や資格、考え方や態度等についても説明した。国際協力に関心の高い生徒たちが多く参加していたことから、質疑応答の時間では、仕事に関わるうえでの具体的な質問が多く寄せられた。また、「自分たち中学生にもできることがあることが分かったので、積極的に活動していきたい」といった感想も聞かれた。担当の先生からも、現地のことやNGOの業務に就いているいろいろと勉強になったとの言葉とともに、今後生徒会でもいろいろと活動を行ってほしいとの思いが伝えられた。

7 写真



イエメンやジブチの状況や、そこでのNGOの活動について、動画も用いて具体的に説明したことで、とても勉強になったとの感想が聞かれた。

(写真1)



講演の後半に、多くの生徒からの1対1でのインタビューを受けたことで、生徒たちが知りたいと思うことに直接答えることができた。

(写真2)

以上

令和3年2月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 大阪府立堺東高等学校2年生探究講座「SDGsを自分事として考えてみる」

企画実施概要： ①企画内容
「探究プログラム」でSDGs達成の課題を調査分析するポスターセッションを行うため冒頭に講演を行う。
②目的：ポスターセッションの開催にあたり冒頭にNGO相談員より世界的な視野、開発教育の観点から講演を行う他、ユースの継続的なアクション、国際協力キャリアの実践事例について紹介する。
③対象者および参加予定人数
高校2年生：280名

2 出張者氏名 仲井友佳子

3 依頼元／主催団体名 大阪府立堺東高等学校

4 実施予定日時 令和3年1月8日（金） 8:45～9:55

5 実施場所 大阪府立堺東高校(堺市南区晴美台1-1-2)

6 実施報告
・SDGsを自分事として考えるための切り口のヒントになるようなテーマとして、「ファストファッション」、「パームオイル」、「スマートフォン(紛争鉱物やサプライチェーン)」についてそれぞれどのような問題・課題がその裏に隠れているのかを紹介。
・若い世代が声をあげること、アクションを起こすことの意味を、ユースの活動事例や体験談から説明。
・新型コロナウイルスの感染予防の観点からグループワークや質疑応答は無かったものの、担当教員から「教員として想定していた通りの内容でとても良かった」という声があった。

7 写真



体育館で講演をするNGO相談員



メモをとりながら講演を聞く学生

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年2月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 龍谷大学国際NGO論 での講義「国際協力の潮流と日本のNGO」
- 企画実施概要:**
- ①企画内容
龍谷大学国際NGO論の授業で、国際協力の潮流、日本のODA、NGOの活動について講義を行う。
 - ②目的:コロナ下において国内課題に注意が注がれる中、国際的な協調、市民社会・草の根の国際協力の重要性について講義を行い、日本のODAの役割や日本のNGOの活動を学び、理解と参加を促す。
 - ③対象者および参加予定人数
龍谷大学経済学部・法学部の学生(2-4年生):30名

2 出張者氏名 仲井友佳子

3 依頼元/主催団体名 龍谷大学経済学部

4 実施予定日時 令和3年1月13日 (水) 13:00-15:00

5 実施場所 オンライン

6 実施報告

- ・参加者全員に、NGO相談員制度の紹介を行った。
- ・参加学生からは、「『市民社会』、『CSO』という言葉やNGOという存在はこれまで身近ではなかったが、アドボカシー活動について考えることを通して、理解を深めることに繋がった。」「パームオイルやファストファッション、サプライチェーンなどから、遠くに感じがちな世界の問題も自分たちの生活に繋がっているということがわかったし、これから先自分たちでもできることから始めていきたいと思うようになった。」というような意見、感想が出た。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和3年2月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 平和学習に関するグループワークのテーブルアドバイザー

企画概要： ①企画内容
「9月よりヒロシマをテーマに平和学習を行っている6年生学級で、国際協力・開発教育の観点から各国の紛争や紛争被害者の現在についてアドバイスを
②目的
外務省NGO相談員が、平和に関するグループワークで日本のことだけでなく、世界の戦争の状況や紛争被害者現状を伝え、国際協力の視野を広げることを目的とする。

③対象者および参加予定人数
小学生:60名

2 出張者氏名 佐野光平

3 依頼元／主催団体名 高槻市立西大冠小学校

4 実施予定日時 令和3年1月19日（火） 13:30～15:20

5 実施場所 〒569-0056 大阪府高槻市城南町3丁目1-1

6 実施報告 初等教育の「平和」に関する探究学習の授業計画より携わり、貧困、飢餓、教育、ジェンダー平等、平和と公正に関する調べ学習が行われ、そのブラッシュアップ発表会のアドバイザーを務めた。児童たちの発表会のあと、SDGsがMDGsの流れを汲み、国際協力と大きく関連した2030年に向けた達成目標であること、17のゴールを不可視化された「人権」を基礎に捉える必要があることや、ゴール同士が相関し合うことについてレクチャーを行った。学校教員からは、国際的な視野を広げ、具体的な事例を紹介することと同時に、児童ができる具体的なアクションについて求められていたため、市民参加の方法としてお正月の「書き損じはがき」を中心に「モノ」を介した換金と支援について提案を行った。



質疑応答の様子



児童による発表会の様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年1月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 草の技術協力事業・NGO等提案型プログラム
実施団体会議における講演

企画実施概要： ①実施内容
草の技術協力事業・NGO等提案型プログラム実施団体会議にオンラインで参加し、上記スキームの優良事例として報告、発表を行った。
②対象者および参加人数
草の根事業技術協力事業、NGO等提案型プログラムの実施・採択団体である28団体の職員58人

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元/
主催団体名 国際協力機構関西センター（JICA関西）

4 実施日時 令和3年1月26日（火） 15:00～17:00

5 実施場所 国際協力機構関西センター（JICA関西）
（オンラインにて参加）

6 実施報告 草の根技術協力事業・NGO等提案型プログラムの実施団体/採択団体の会議にて、同スキームの優良事例について発表を行った。

当日は各団体から担当職員、計58人が参加された。各団体の活動分野は様々であるが、担当職員を対象に事例の共有できたことで、各団体の事業の改善や強化に役立てたのではないかと考える。また、本会議を通じて、関西の実施・採択団体同士のつながりができたことも、大きな意味があったと考えられる。

7 写真

	
<p>発表冒頭の様子。NGO相談員として事例の共有を行った。</p>	<p>NGO等提案型で採択中の当会の事業について概要を発表した。</p>

(写真1)

(写真2)

以上

令和3年2月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名

第32回タイムフェスティバル

企画実施概要

①実施内容

1月24日(日)に開催された国際理解・国際協カイベント「第32回タイムフェスティバル」にオンラインで出展し、公式イベントページにNGO相談員を紹介。

②対象者および参加人数

一般 515名(会場:163名 オンライン:352名)

2 出張者氏名

山上正道

3 依頼元/主催団体名

タイムフェスティバル実行委員会

4 実施予定日時

令和3年1月24日 (日) 11:00~15:30

5 実施場所

とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5)

6 実施報告

岡山県が「感染流行嚴重警戒地域」となっているため、コロナ感染対策として、対面での出張サービスからオンライン出展に変更となった。開催当日は約350名がオンラインで参加し、国際協力に関心をもつ層にNGO相談員制度に関する情報を提供することができたと考える。

7 写真

	
公式ホームページ	公式ホームページ内のNGO相談員ページ

(写真1)

(写真2)

以上

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 鬼北町立近永小学校

企画実施概要:

①企画内容

昨年度のNGO相談員出張サービス企画「地球人まつり」において相談対応した教員とのコラボ企画で、「グローバル・ローカルからた(外務省NGO相談員としてH27年度作成したもの)」を活用して、小学生4、5年生を対象に海外に目を向けてもらい、日本の国際協力とその大切さ、NGOの仕事やSDGsの動きなどを紹介し、国際理解を深める機会とする。各学年2時間ずつの時間を確保したので、講演とかたるたを使ったワークショップの組み合わせで、わかりやすく伝えるよう工夫する。

②目的

4年生: 地域と海外の福祉をテーマとし、タイ王国のインクルーシブエデュケーション、カンボジアで地雷処理を行うIMCCDや難民支援を行うAAR等を紹介することで、NGOと世界のつながりを理解してもらうことを目的とする。

5年生: 私たちの衣食住と世界のつながりに触れつつ、ハンガーマップや世界一大きな授業の取り組みやSDGsの動きを紹介し、日本のODAやNGOによる具体的な国際協力について知って理解してもらうことを目的とする。

③対象者および参加予定人数

小学4年生: 35名、小学5年生: 44名、計79名

2 出張者氏名 竹内よし子

3 依頼元/主催団体名 鬼北町立近永小学校

4 実施予定日時 令和3年1月18日 (月) 10:00 ~ 15:25

5 実施場所 愛媛県北宇和郡鬼北町大字奈良3774

距離 往復約 186km

6 実施報告

今回の出張サービスは、対面で行うことができた。小学校4年生向けの内容では、国際協力×福祉の内容だったため、フィリピンで障がい者支援を行うNGOの紹介も含めて行い、途中、NGOとオンラインでつなぐなど工夫した。5年生には、モザンビークの事例紹介も含め、SDGsに取り組んでいるNGO活動について紹介した。いずれの授業でもグローバルローカルからたを活用し、国際協力活動に親近感を持ってもらえるよう工夫した。主な感想は以下の通り。

①SDGsの勉強をして給食や水のことなど当たり前が当たり前でないとわかった。これから地球を守るために自分ができることを頑張ろうと思う。

②私は小さい時からお医者さんになりたいと思っているけれど、普通のお医者さんではなく、世界の人を救う人になりたいと思った。

③今日の学習で障がいのある人も、みんなで協力すると国際協力のお仕事ができるということを学んだ。

7 写真

	
4年生の授業「国際協力×福祉」	5年生の授業「国際協力とSDGs」

(写真1)

(写真2)